

セミナー「ICT を活用した外国語教育—中国語教育を中心に—」 資料

清原文代

開催日時・場所・主催者

日時：10月30日（金）13：00～15：00（12:30 開場）
場所：中央大学多摩キャンパス文学部3号館3451号室
講師：清原文代（大阪府立大学高等教育推進機構教授）
主催者：遠藤雅裕（中央大学法学部教授）
協力：中央大学人文社会学科中国言語文化専攻

プログラム

12:30	開場
13:00～13:10	趣旨説明
13:10～13:50	Quizlet：音が出てテストもできる単語カード作成サービス
13:50～14:00	休憩
14:00～15:00	下記の「お品書き」から参加者の希望に基づいて時間の許す限り Web サイトやアプリ等を紹介

本セミナーは JSPS 科研費 26370680 の助成を受けたものです。

この資料は

Creative Commons License 表示 - 非営利 - 改変禁止 4.0 国際 (CC BY-NC-ND 4.0)で配布します。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

「お品書き」

項目が多いため、時間の関係で全てをデモンストレーションすることはできません。セミナー当日はリクエストの多いものから順にやっていきます。

1. 予習復習（単語学習）：

【お悩み】単語学習の最初の段階（音声・文字・意味を一致させる）まで授業中でやっているとう授業時間がいくらあっても足りません。

【“宅女”の提案】

テストもできる合成音声付き単語カードを無料で作成できるサービス Quizlet を利用してみるのはどうでしょう？

(1) Quizlet

<https://quizlet.com>

Quizlet のスマートフォン用アプリ

<https://quizlet.com/mobile>

清原が中国語入門初級クラスのために作った Quizlet の単語カードセットのリンク集

http://www.las.osakafu-u.ac.jp/~kiyohara/JACLE_Kansai_2012_Quizlet/

清原の作った Quizlet の単語カードセット一覧

<https://quizlet.com/kiyohara>

中国語教育学会第6回研究会ワークショップ「中国語の反転授業に使えるデジタル教材を作る」資料

http://www.flexict.jp/lib/exe/fetch.php?media=workshop_2015-03-07.pdf

Quizlet の操作動画あり。

2. 予習復習（文法学習）：

【お悩み】授業では学生と教員がいるからこそできるインタラクティブな活動を増やしたいですが、かと言って文法を説明しないわけにはいきません。

【“宅女”の提案】無料で使用できる既存の Web 教材の文法説明を予習復習の課題として使用してみてもはどうでしょう？例えば以下のようなものがあります。

(2) 東京外国語大学言語モジュール

<http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/>

東外大言語モジュールには中国語、英語、日本語など 27 の言語の教材がある。スマートフォン対応。

東外大言語モジュール中国語文法モジュール

<http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/zh/gmod/steplist.html>

(3) NHK ゴガクル

<http://gogakuru.com>

NHK 語学教育番組（中国語、英語、ハンガール）で使われた例文を音声と簡単な文法説明とともに収録。スマートフォン対応。例文は一つ一つ URL を持っている。

<http://gogakuru.com/chinese/phrase/26684>

例文を使われている単語や、例文のテーマで検索する機能もある。

【“宅女”の提案】それでも足りない時は自作も考えてみてはどうでしょう？ShowMe は iPad 一台で無料で板書と音声同期した動画教材を作り、Web に公開できるサービスです。

(4) ShowMe

<http://www.showme.com>

清原の作った ShowMe

<http://www.showme.com/kiyohara>

中国語教育学会第 6 回研究会ワークショップ「中国語の反転授業に使えるデジタル教材を作る」資料

http://www.flexict.jp/lib/exe/fetch.php?media=workshop_2015-03-07.pdf

資料後半に ShowMe の操作動画あり。

3. 予習復習の成果を確認：

【お悩み】学生に予習復習を課しても耳を貸してくれません！

【“宅女”の提案】選択問題や空欄補充の練習問題を作成できる無料ソフトの HotPotatoes や CasualTranscriber を使って問題を作り、授業の最初に予習復習の成果を確認してみるのは如何でしょうか？

(5) HotPotatoes

<https://hotpot.uvic.ca>

選択問題・穴埋め問題・並べ替え問題・マッチング問題・クロスワードが作成可能。

公式ではないが、日本語による使用説明がある

<http://skomatsu.free.fr/HotPotguide/>

清原が作ったサンプル

<http://www.las.osakafu-u.ac.jp/~kiyohara/xiaoceyan/zai-you/zai-you.htm>

http://www.las.osakafu-u.ac.jp/~kiyohara/xiaoceyan/3_zai/index.htm

(6) Casual Transcriber

<https://sites.google.com/site/casualconcj/yutiriti-puroguramu/casualtranscriber>

元々はテープ起こしをするためのソフトウェアだが、リスニング問題用を作成できる。

非常に多機能なソフトなので、練習問題作成に使うのであれば、以下の作者による問題作成手順に沿ったマニュアルを先に読んだ方がよい。

http://bit.ly/LET2015CT_Handout

公式マニュアル

http://sites.google.com/site/casualconcj/download-files/CasualTranscriber_Manual%202.5%20J.pdf

清原が作ったサンプル

<http://www.las.osakafu-u.ac.jp/~kiyohara/xiaoceyan/dagong/dagong.html>

(7) StarQuiz (有料)

<http://magichat.jp/products/starquiz/>

正誤、単一選択、複数選択、空所補充、小論文などの出題形式がある。容量制限はあるが、問題をアップするサイトも提供してくれる (HTML に書き出して自分のサイトにアップすることも可能)。答案の集計機能や個人別の採点結果をグラフや表で表示する機能もある。

清原が作ったサンプル

<http://quiz.cosmicsoft.net/3s8p>

4.教材提示：

【お悩み】学生に「教科書のCDを聞いて来なさい」と言ったら、「下宿生なんでCDプレーヤー持っていません」とか、「教科書を見ながら操作するのが面倒くさい」とか言います。

【“宅女”の提案】スマートフォンやタブレットでテキストと音声を一画面で提示する方法があります。

(8) Yubiquitous Text

<https://itunes.apple.com/jp/app/yubiquitous-text/id711847884?mt=8>

関西大学外国語学部の学生が卒業研究として作成したアプリ。

公式ユーザーズマニュアル

<https://sites.google.com/site/yubiquitoustextja/home/manual>

このアプリに対応した中国語教材配布サイトが[中国語学習ジャーナル](#)というサイトの中に設置されている。自分で教材を作成することもできる。

Yubiquitous Text 中国語コンテンツ配布サイト

<http://www.chlang.org/contents/yubiteki/>

(9) 中国語自習ツール

<https://dl.dropboxusercontent.com/u/14905265/cn/index.html>

清原が神谷健一先生（大阪工業大学）と共同開発中のデータベースソフト FileMaker を使った音声付き中国語教材、iPhone を使って自分の声を録音して保存することも可能。

5.発音練習（音声入力）：

【お悩み】全員で発音練習をすると全く口を開かない学生がいます。一対一で発音を指導していると他の学生が時間を持てあまします。

【“宅女”の提案】高校生以上なら多くの学生がスマートフォンを持っています。スマートフォンの音声入力を使ってみるのはどうでしょうか？教員が一対一で発音指導している間、他の学生はスマートフォンの音声入力練習をします。自分の声ですぐに文字になって返ってくるという反応があり、うまく入力できた時には母語話者向けの音声入力に成功したという達成感が得られます。

(10) スマートフォン（iPhone&Android）の中国語入力（音声入力も含む）の設定方法

<http://www.ch-station.org/smartphone-ime-2014/>

(11) Dragon Dictation

<https://itunes.apple.com/jp/app/dragon-dictation/id341446764?mt=8>

最初は日本語の音声入力になっているので、設定から音声入力したい言語に切り替える。

Dragon Dictation は Google 音声入力（Android）や iOS（iPhone・iPad）の音声入力より判定基準が厳しい印象があるので、発音練習にはかえってよい。

(12) NHK ゴガク「英語発音練習くん&中国語声調確認くん」

<https://www2.nhk.or.jp/gogaku/hatsuon/>

NHK の語学番組（英語・中国語）で使用された例文の音声を使って発音練習ができる。英語は学習者の発音が正しいとその文に対する応答が返ってくる。中国語は模範音声の声調の波形と学習者の声調の波形を重ねて表示する。学習者の声調を模範音声の声調に合わせて矯正したものを再生する機能もある。

6.発音練習（TTS：合成音声による読み上げ）：

【お悩み】学生に自己紹介を暗誦させたいのですが、一人一人異なる内容の何十人分もの模範音声をわたし一人で録音するのはちょっと無理です。

【“宅女”の提案】人間の声と全く同じというわけにはいきませんが、スマートフォンに合成音声で文章を読み上げさせてみてはどうでしょう？

(13) iPhone・iPadのアクセシビリティ機能による読み上げ

iOS9の場合：設定→一般→アクセシビリティ→スピーチ→選択項目の読み上げ

Web ページ、メモに記入したテキスト、メールの文字を選択して読み上げることができる。読み上げる際の言語選択はiOSが自動で行う。

(14) Voice Dream Reader（英語1音声のみ無料、その他の言語の音声は有料）

<https://itunes.apple.com/jp/app/voice-dream-reader/id496177674?mt=8>

読み上げ音声と同期してテキストがハイライト表示されるので、どこを読んでいるかわかりやすい。Voice Dream Readerが販売する音声の他に、iOSが内蔵する合成音声も使える。

(15) Google 翻訳

翻訳結果は見てはいけない。音声入力機能と合成音声の読み上げ機能を利用する。

パソコン用

<https://translate.google.co.jp/?hl=ja>

Android用

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.google.android.apps.translate&hl=ja>

iPhone・iPad用

<https://itunes.apple.com/jp/app/google-fan-yi/id414706506?mt=8>

(16) VoiceTra

<http://voicetra.nict.go.jp/vt/>

情報通信研究機構（NICT）による音声翻訳アプリ。観光旅行で使うような典型的な文ならそれなりの訳が返ってくることもあるが、翻訳アプリとして使うより、音声入力機能と合成音声の読み上げ機能を利用する。

(17) 発音イイね！（発音不錯！）

<https://it-kyouzai.com/speak/>

Googleの音声入力と音声読み上げ機能を使って発音を練習できるサイト。合成音声による読み上げを聞く→自分で音声入力するというサイクルで練習する。ただし、Googleの音声入力は割と許容範囲が広いような印象がある。パソコンのWebブラウザChromeを使ってアクセスすること。最初にマイクの使用許可を求められるのでOKする。ドリルIDにNHKと入れると、清原が作ったサンプル問題（中国語の単語と短文10個）を試せる。

7.教室活動（成果物の作成）：

【お悩み】学校側から学生にタブレットが支給されましたが、授業中にとりあえず何をさせていいのか悩んでいます。タブレットで遊ばれたらと思うと不安です。

【“宅女”の提案】授業中に時間制限を設けて学習の成果を表す作品をタブレットで作らせてみては如何でしょう？タブレットを使うとテキスト＋音声＋画像＋動画が一体になった作品を作ることができます。

(18) ロイロノートスクール（有料）

<https://n.loilo.tv/ja/>

元々小中学校の調べ学習のための動画編集アプリなので操作は簡単だが、表現力は高く、大人の成果物の作成に十分使用できる。クラス管理機能あり。

(19) Book Creator（有料）

<http://www.redjumper.net/bookcreator/>

テキスト、音声、画像、動画を含む電子書籍を手軽に作ることができる。

(20) Seesaw

<http://web.seesaw.me>

テキスト・お絵かき・音声・動画などで成果物を作成してクラス内で共有し、振り返りや相互コメントができるサービス。アメリカの K-12（小中高）を対象としたサービスなのでインターフェースは英語だが、日本語や中国語も入力できる。学習者が自分のメールアドレスとパスワードを使ってログインすることもできるが、パスワードの管理ができない低学年の生徒のために QR コードを使ったクラス単位でのログイン方法も用意されている。

ソフト名、Web サイト名、機能	概要	教材作成に使用する端末	学習者が使用する端末
Quizlet (無料、有料追加サービス有)	合成音声付きの単語カードを作るサービス。カードの他、聞き取り問題、テスト、マッチングゲームなどができる。	パソコン タブレット スマートフォン	パソコン タブレット スマートフォン
ShowMe (無料、有料追加サービス有)	文法説明は予習、教室では双方向の活動をする反転授業に使える板書動画を作る。	iPad	パソコン タブレット スマートフォン
HotPotatoes (無料)	手軽に e-Learning 練習問題 (多肢選択問題など) を作る。	パソコン	パソコン (タブレット・スマートフォン)
今尾康裕 CasualTranscriber (無料)	手軽に e-Learning リスニング問題を作る。	Mac OS X	パソコン (タブレット・スマートフォン)
StarQuiz (5000 円)	手軽に e-Learning 練習問題 (多肢選択問題など) を作る。成績集計機能あり。サーバスペースの提供あり。	パソコン	パソコン タブレット スマートフォン
樋口拓弥 Yubiquitous Text (無料)	教室に CD プレーヤーを持って行くのはもうやめよう！音声の再生に伴ってテキストが反転表示される教材を作る。	iPhone iPad	iPhone iPad
スマートフォンの音声入力	音声入力で発音練習をする。正しく入力できるまで何度も練習。		スマートフォン タブレット
Dragon Dictation (無料)	iPhone の音声入力アプリで発音練習をする。正しく入力できるまで何度も練習。		iPhone iPad
NHK ゴガク「英語発音練習くん&中国語声調確認くん」 (無料)	英語は発音が正しいとその文に対する応答を返す。中国語はモデルの声調と学習者の声調を重ねて図示する。		パソコン タブレット スマートフォン
iPhone、iPad のテキスト読み上げ機能	模範音声がない時にテキストを合成音声で読み上げて聞く。		iPhone iPad
Voice Dream Reader (無料、一部有料部分あり)	模範音声がない時にテキストを合成音声で読み上げて聞く		iPhone iPad
Google 翻訳 (無料)	翻訳ではなく、音声入力と音声読み上げを利用する。		パソコン タブレット スマートフォン

ソフト名、Web サイト名、機能	概要	教材作成に使用する端末	学習者が使用する端末
VoiceTra	翻訳ではなく、音声入力と音声読み上げを利用する。		スマートフォン タブレット
発音イイね！（発音不錯！）	合成音声を聞く→自分で音声入力をするという形で発音を練習するサイト。	パソコン用 Web ブラウザ Chrome	パソコン用 Web ブラウザ Chrome
ロイロノートスクール（有料）	授業支援機能付き動画作成アプリ。元々小中学生の調べ学習のためのアプリで操作が簡単。授業中の成果物の共有に。	iPad Windows8 以上	iPad Windows8 以上
Book Creator（有料）	テキスト、音声、画像、動画を含むマルチメディア電子書籍を作る。操作が簡単で学習者と一緒に作る活動に向く。	iPad Android Windows8 以上	パソコン タブレット スマートフォン
Seesaw（無料、有料追加サービス有）	小中高校向けの成果物をクラスで共有するためのサービス。	パソコン タブレット スマートフォン ChromeBook	パソコン タブレット スマートフォン ChromeBook

パソコン=Windows、Mac OS X
 タブレット=iOS、Android
 スマートフォン=iOS、Android